

グローバルサウス未来志向型共創等事業 効果検証シナリオ

2025年3月31日

通商政策局 貿易振興課

グローバルサウス未来志向型共創等事業

令和6年度補正予算要求額等 総額約1,500億円(国庫債務負担行為等を含む)

通商政策局

(1) 貿易振興課、欧州課

(2) 総務課、アフリカ室

(3) 技術・人材協力室、南西アジア室

事業の内容

事業目的

グローバルサウスが抱える課題を解決することを通じて同市場の成長力を活かし、経済安全保障（サプライチェーン強靱化等）、日本国内のイノベーション創出（GX/DX）等を通じた日本企業の国内産業活性化を目指す。また、同時にグローバルサウス諸国との経済連携を強化する。

事業概要

(1) グローバルサウス未来志向型共創等事業

今後成長が見込まれる未来産業に関し、グローバルサウス諸国において、日本企業が現地企業と互いの強みを活かしながら、強靱なサプライチェーンの構築、カーボンニュートラルの実現等を共に実現する事業等を支援する。また、ウクライナ支援も対象とし、周辺国である中東欧諸国からの支援も含めて、ウクライナ復興に資する事業を推進する。

(2) グローバルサウス市場開拓に向けた支援事業

国内産業の活性化や強靱なサプライチェーンの構築等に向け、アフリカ等のグローバルサウス諸国とのビジネス関係拡大に資する事業案件を発掘・組成するための現地情報の収集・提供やビジネスイベントの開催等を行うとともに、必要な支援体制を強化する。

(3) グローバルサウスとの連携強化に資する共創型技術人材交流事業

GX/DX人材等の育成、高度外国人材受入れの支援強化や第三国との共同事業、現地スタートアップエコシステムへの接続による経済関係の深化等を通じ、サプライチェーンの強靱化、日本企業のグローバル化及び国際競争力の強化を目指す。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

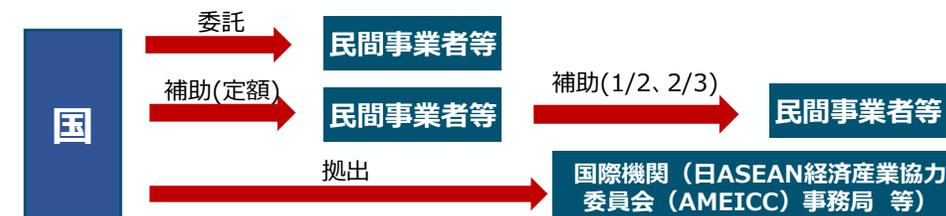
(1) グローバルサウス未来志向型共創等事業



(2) グローバルサウス市場開拓に向けた支援事業



(3) グローバルサウスとの連携強化に資する共創型技術人材交流事業



成果目標

- 大型実証、小規模実証、FS等の実施を通じて、将来的な日本企業の海外インフラ等の受注を目指す。
- 研修・寄附講座開設等による人材育成、ジョブフェア・インターンシップ実施等による高度外国人材の獲得・活用等を通じ、グローバルサウス諸国における市場・収益機会を拡大する。

事業趣旨

- 激変する国際情勢下において**グローバルサウスとの連携を強化することで、国際秩序の安定を目指す。**
- また、相手国のニーズが高い**DX/GX分野を中心に共創案件の形成等を支援**することで、成長余力が高い同地域の活力を生かした**日本のイノベーション創出や、有志国間での産業基盤のネットワーク構築、経済安保強化等にも裨益。**これら成果を**FOIPの実現にも繋げていく。**

＜我が国にとってのグローバルサウス諸国の重要性＞

① 成長力の高い市場

2050年には全人口の3分の2がグローバルサウス
2023年インドが中国を逆転

グローバルサウス合計 (インド含む)

インド 中国 EU 米国

出典：三菱総研

② 経済安保上重要な相手

- ◆ リチウム
中国：55%、チリ：30%
- ◆ レアアース
中国：60%、ベトナム：16%
- ◆ ニッケル
インドネシア：28%、フィリピン：26%

③ 国際秩序形成の鍵

印主催「グローバルサウスの声サミット」
(2023年1月) 参加国は120以上

露非難決議は、多くの新興国・途上国が露にも配慮してバランスを取る姿勢

※地図上の青塗りは露に非友好国指定されている国・地域 (2022年3月24日時点)

- ◆ グローバルサウスの共通課題である産業の脆弱さ、保健・防災・食糧問題等に対し、デジタル等の新興技術を社会実装し、自律的で迅速なソリューションを相手国に提供。
- ◆ その際、**日本と現地企業が共創型でビジネスを興し、相手国産業の育成や社会課題解決のみならず、日本企業のイノベーション創出や技術展開、サプライチェーン強靱化という双方の「win-win」を実現。**
- ◆ **事業収益確保に留まらない、日本の産業構造の高度化、強靱化等に資する案件をFS/実証等通じて支援していく。**

＜事業例＞

AI等新技術の社会実装
グローバルサウス諸国

案件組成や現地人材の育成等

日本へデータ等を還元、高度人材還流など (イノベーションの源)

R&D拠点整備等が促される効果

日本

事業の要件（FS・実証）

- **【相手国碑益】グローバルサウス諸国の産業基盤構築や技術育成、社会課題解決に資するものであること。**
- **【日本碑益】日本の産業構造の高度化や高度技術の海外展開、サプライチェーンの強靱化に資するものであること。** 具体的には**以下3類型の少なくとも1類型に該当し、定量的にその効果が示せること。**

類型①我が国のイノベーション創出につながる共創型 の要件

- ・日本で既に技術的には確立されたものであること
- ・該当国において事業に未適用なプロジェクトであること
（又はスケール化を含む事業化にあたっての課題が明確であること）
- ・日本へのリバースイノベーションに資すること

類型②日本の高度技術海外展開型 の要件

- ・日本で既に技術的には確立されたものであること
- ・該当国において事業に未適用なプロジェクトであること
（又はスケール化を含む事業化にあたっての課題が明確であること）
- ・事業化に至った際に、日本の雇用増加等に繋がること

類型③サプライチェーン強靱化型 の要件

- ・日本の産業構造上重要と考えられる物資を対象とすること
※特定重要物資に指定されているもの以外でも、サプライチェーン上の重要性が合理的に説明されているものを対象に含みます
- ・該当国において事業に未適用なプロジェクトであること
- ・日本の一国への輸入依存度が高く、本事業を通じた供給構造の変化が日本のサプライチェーン強靱化に資すること

執行スキーム（令和6年度補正事業）

- 大きく①補助上限40億円の大型実証 ②補助上限数億円の小規模実証・FS の2つに分かれる。
- いずれも公募期間は2025年度中に2回程度行う予定。
- 事業実施期間は、①は補助交付契約締結又は交付決定から3年間(ただし、最長でも2028年度末)。②は交付決定から1年程度。

大型実証（補助）

執行団体(対ASEAN加盟国)

(公募・採択)

事業者等

- ・補助額：5億円以上、40億円以下
- ・補助率：中小企業以外1/2、中小企業2/3
- ・事業期間：最長3年間

執行団体(対非ASEAN)

(公募・採択)

事業者等

- <令和5年度予算事業実績>
- ・対ASEANは第1回公募を6/6(木)～6/27(木)で実施、第2回公募を12/13(金)～1/10(金)で実施。
 - ・対非ASEANは第1回公募を6/5(水)～7/5(金)で実施、第2回公募を1/16(木)～3/27(木)で実施。

小規模実証（補助）

FS（補助）

執行団体

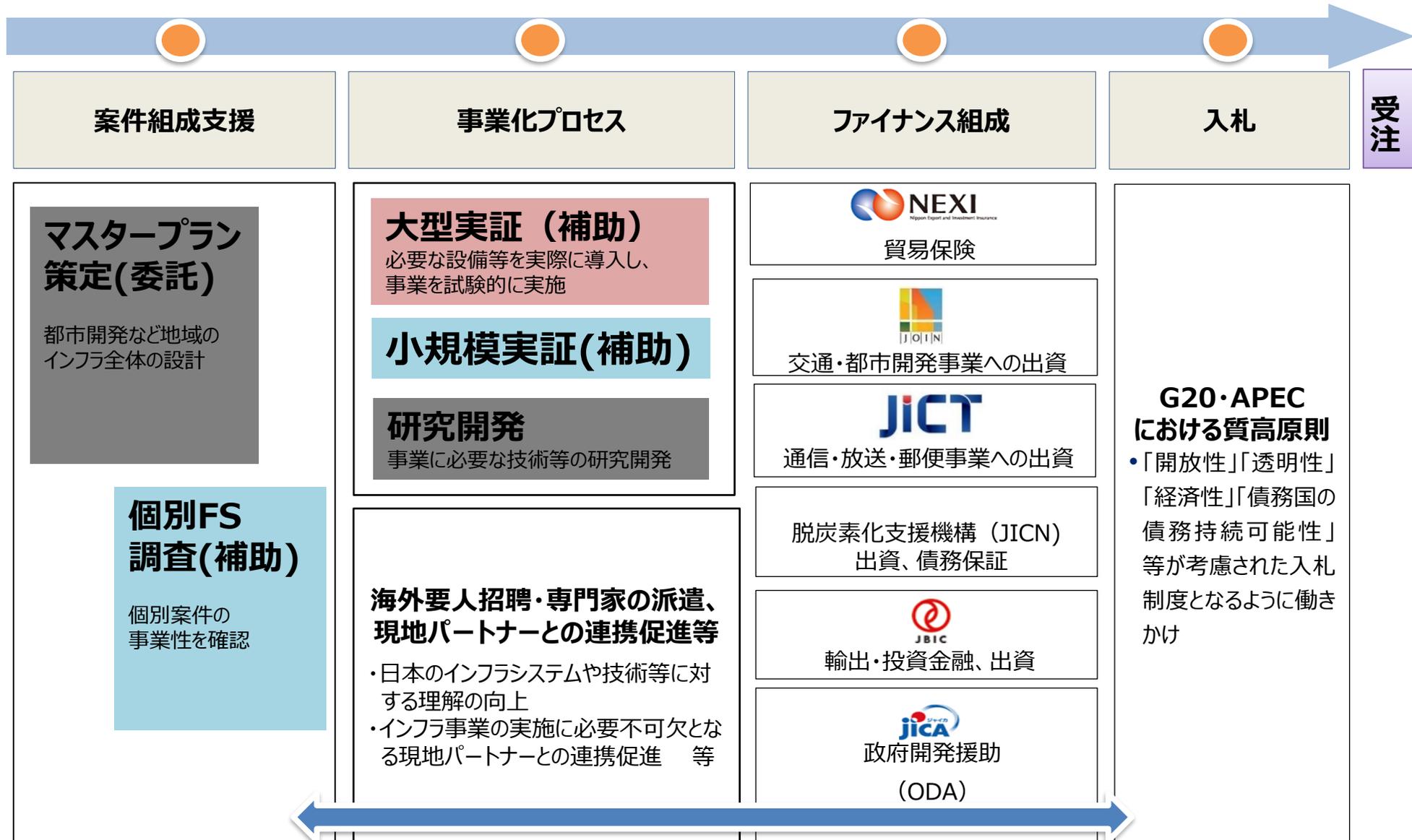
(公募・採択)

事業者等

- ・小規模実証の補助額：上限5億円
- ・FSの補助額：上限1億円
- ・補助率：中小企業以外1/2、中小企業2/3
- ・事業期間：1年程度

- <令和5年度予算事業実績>
- ・第1回公募を4/17(水)～5/10(金)で実施。
 - ・第2回公募を9/9(月)～10/11(金)で実施。
 - ・第3回公募を1/8(水)～1/31(金)で実施。

(ご参考) 海外プロジェクト支援スキーム全体像 (案件形成から受注まで)



JICA等は、ファイナンス組成等での活用が見込まれる案件について、FS段階から支援するケースも

グローバルサウス補助金(大型実証事業)採択結果概要

- 第1回のASEAN向け大型実証事業は、公募(6/6-6/27)の結果、**応募件数は24件**。8/15(木)に**13件の採択決定**・公表。
- ASEAN諸国の社会課題解決及び日本の国益に資する幅広い案件を採択。

企業名	事業実施国	プロジェクト名
いすゞ自動車	タイ	バッテリー交換式EVの導入及び電力インフラとの連携によるセクターカップリングの実証事業
伊藤忠商事	インドネシア	Project GAIA (グリーンアンモニアイニシアティブ@アチェ)
岩谷産業	タイ	F to P (フレック to プリフォーム) ダイレクトリサイクル技術の導入
オリンパス	ベトナム	日本品質医療機器の海外製造実証事業
Green Carbon	フィリピン	水田メタンガス削減及び籾殻バイオ炭生成によるカーボンクレジット実証事業
住友商事	ベトナム	タンロン工業団地・北ハノイスマートシティの脱炭素化(再生可能エネルギー拡大・省エネ技術導入)・広域エネルギーマネジメント実証事業
住友林業	インドネシア	中央カリマンタン州における持続可能な泥炭地の修復と管理
双日	タイ	持続可能な航空燃料(SAF)の高収率での製造実証事業
TSBグリーンネックス	ラオス	パクセー・ジャパン経済特区カーボンニュートラル化実証事業
トクヤマ	ベトナム	多結晶シリコンエッチング事業
日本グリーン電力開発	インドネシア	SAF原料となる規格外ココナッツ由来CCO工場建設 - GHG削減効果/CORSIA認証取得及び原料トレーサビリティシステム構築の実証事業
富士フイルム	シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア 他	ASEANにおける健診センター(NURA)の展開を通じたAI健診イノベーション実証事業
ミツミ電機	フィリピン	アナログ半導体後工程(パッケージ)の生産革新実証事業

グローバルサウス事業におけるアウトカム目標とロジックモデル（案）

※本ロジックモデル案については、今後も検討・見直し予定

